

生誕100年

山下清展

百年目の
大回想

「長岡の花火」(部分)貼絵/1950(昭和25)年 ©Kiyoshi Yamashita / STEPeast 2023

2023 10/7(土) ~ 11/26(日)

[休館日] 月曜日(10月9日は開館)、10月10日(火)、11月24日(金)

[主催] 生誕100年 山下清展実行委員会(宮崎日日新聞社・宮崎県立美術館) UMKテレビ宮崎 [特別協力] 山下清作品管理事務所 [企画協力] ステップ・イースト [協力] 宮崎サンシャインズ

会場

宮崎県立美術館

宮崎市船塚3-210 TEL 0985-20-3792

開館時間 10:00~18:00(展示室入場は17:30まで)

[特別協賛]

夢に向かって、限りなき挑戦
大淀開発
COYODO KAIHATSU CO., LTD.

[協賛]

輝き ふれあい
宮崎太陽銀行

生誕100年

山下清展 百年目の大回想

「放浪の天才画家」と言われた山下清(1922~71)。少年のころから完成度の高い貼絵を創作し、18歳から始めた放浪の旅では、記憶に残った旅先での風景を緻密で色鮮やかな作品として再現しました。既に日本の著名な画家たちによる賛辞を受けていましたが、31歳の時にアメリカのグラフィック誌もその画才に注目、さらに脚光を浴びるようになりました。その後、「今年の花火見物はどこに行こうかな」の言葉を最後に49歳で生涯を閉じました。本展では、「日本の原風景」と称される代表的な貼絵を中心に、独特な手法で描かれた油彩、水彩画、ペン画、陶磁器、少年期の貴重な絵など約190点を展示。「百年目の大回想」というタイトルにふさわしく、テレビや映画の中の人物像とは違う、芸術家・山下清の姿を再発見できる展覧会となります。



制作中の山下清

- 1.『グラバー邸』貼絵/1956(昭和31)年/個人蔵
- 2.『桜島』貼絵/1954(昭和29)年
- 3.『パリのエッフェル塔』水彩画/1961(昭和36)年
- 4.『ラ・ムスメ(娘)―ゴッホによる』貼絵/1940(昭和15)年
- 5.『ソニコンロケット』貼絵/1959(昭和34)年頃/株式会社増田屋コーポレーション蔵
- 6.『大文字焼風景(牛ノ戸焼)』鉄軸壺/1956(昭和31)年

©Kiyoshi Yamashita / STEPeast 2023



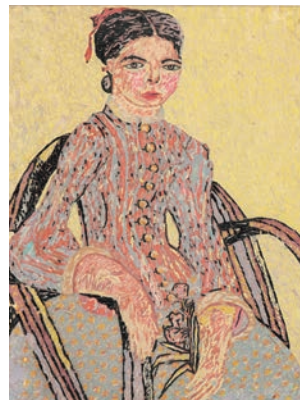
1



2



3



4



5



6

EVENT

講演会「家族が語る山下清」

〔日時〕10月7日(土)午後1時30分～

参加申込方法については本展ホームページをご覧ください。

〔講師〕山下浩氏(山下清作品管理事務所代表、山下清の甥)

〔会場〕県立美術館1階アートホール

〔参加費〕無料 ※要本展観覧券(半券可)

〔定員〕60名 ※事前申し込み制

〔観覧料(税込)〕一般1,000円(前売り800円) 中高生500円(前売り400円)

未就学児・小学生無料(保護者同伴でご入場ください。)

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、マイROID提示者は本人のみ無料

〔前売り券お取り扱い〕10月6日(金)まで

宮崎県立美術館、宮日会館1階受付、宮崎日日新聞県内各販売所、コープみやざき県内各店、宮崎山形屋、宮交シティ、セブンチケット(セブンコード:102-096)、ローソンチケット(Lコード:81849)、チケットぴあ(Pコード:686-586)、イープラスほか

〔お問い合わせ〕宮崎日日新聞社事業部 TEL0985-26-9303(平日9~12時、13~17時)

〔後援〕宮崎県市町村教育委員会連合会、(公財)宮崎県芸術文化協会、宮崎県観光協会、宮崎県商工会議所連合会、宮崎県中小企業団体中央会

ギャラリートーク

〔日時〕10/14(土)、10/25(水)、11/4(土)、11/15(水)
いずれも午後2時~(約30分)

〔解説〕美術館学芸員

〔会場〕県立美術館2階展示室内

〔参加費〕無料 ※要本展観覧券、事前申し込み不要



芸術家・山下清の残した名品の数々。今なお人々を魅了し続ける山下芸術の神髄をご紹介します。

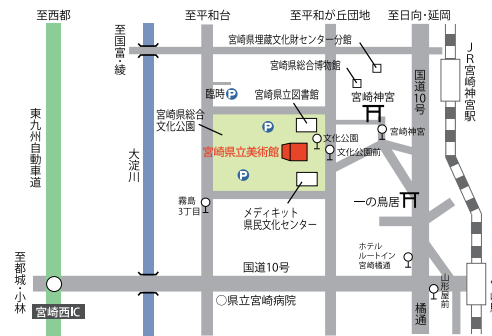
〔ご利用料金〕1台600円(税込)

※映画の吹き替えやアニメ、CMなど各方面で活躍中の声優・梅原裕一郎さんがソフトなトーンで語りかけます。

詳しくは

山下清展 宮崎

検索



〔会場〕宮崎県立美術館

宮崎市船塚3-210 TEL 0985-20-3792

- ・できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ・JR宮崎駅からタクシー約15分。
- ・JR宮崎神宮駅からタクシー約5分、徒歩では20分。